

CSR活動

コーポレート・ガバナンス/コンプライアンス

日清医療食品は、コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの強化を、CSR 経営の基盤と位置づけ、さまざまな取り組みを推進しています。

コーポレート・ガバナンスの強化

ワタキューグループ基本方針と、社是である「心」に則り、ステークホルダーの皆様の「心」を尊重し、「企業の公正性・透明性の向上」「意思決定プロセスの徹底」「コンプライアンスの徹底」の3つをテーマにコーポレート・ガバナンスの強化に努めています。

内部監査体制

日清医療食品の内部統制室は、全国の16カ所の支店および日清医療食品のグループ会社、本社各部室に対して年1回、監査を実施しています。関連法令、社会諸規程の遵守にとどまらず、ワタキューグループ基本方針と社是「心」に基づく、より健全な内部統制環境の構築を推進しています。そのための最も重要な施策として、ご契約先事業所に訪問して現場の声を伺い、発生するリスクへの「早期発見・正しい対応」に努めています。

コンプライアンスの徹底

「コンプライアンス」は、一般には「法令遵守」「企業順法」という意味で用いられていますが、現在の企業を取り巻く社

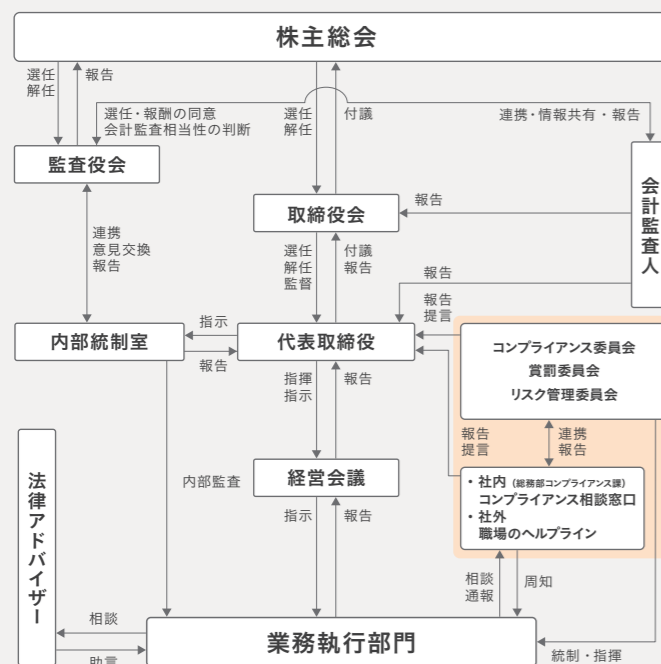
会環境においては、業務遂行に直接関係する法令を遵守するだけでは信頼や共感を得ることはできません。特に、当社は業界のリーディングカンパニーであることから、他社に比べて高い水準の倫理的行動が求められていると考えています。こうした認識のもとに、当社では「コンプライアンス」を、会社の諸活動に関わる法令や当社の基本方針、定款・規程・社内ルール、さらには広く社会規範も含めた「規範の遵守」を實踐していく活動と位置づけ、日常業務として遂行できるよう、実例をあげながら研修を実施しています。

基本となる考え方

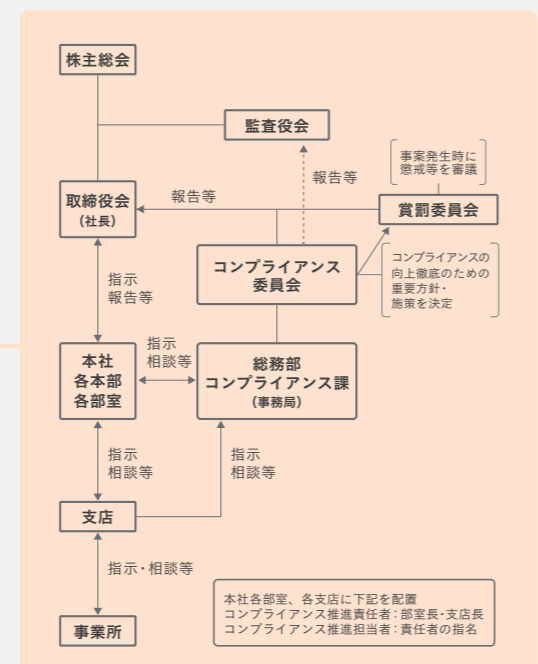
事業に関わる多様なステークホルダーの皆様と健全な関係を保ち、持続的に成長していくために、「ワタキューグループ基本方針」「四つの約束」を定めています。また、「コンプライアンス憲章」を定め、嘱託社員や派遣・パート社員を含めた全社員を対象にガイドブックの配布や研修を実施しています。



企業統治体制



コンプライアンス体制



CSR活動

地球環境とともに

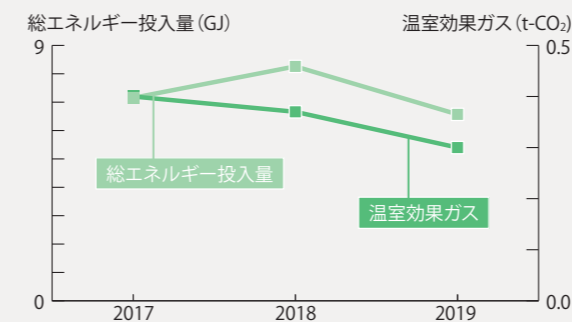
日清医療食品は、次世代の人々に美しい地球環境というバトンをつなぐために、一人ひとりの環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組んでいます。

エネルギー使用量の削減

日清医療食品は、2010年度から空調温度を制限したクールビズの推進や照明の照度抑制などエネルギー使用量の削減に取り組んでいます。なかでも、エネルギー使用量の大半を占めるセントラルキッチンにおいては、環境に配慮した設備への切り替えなどを通じて、エネルギー使用量の削減を推進してきました。

2017年には大量・多品種の自動化を実現したヘルスケアフードファクトリー亀岡が竣工し、2018年から年間を通じての稼働、2019年にその改善を実施。2017年と比較して総エネルギー投入量では92%に削減、温室効果ガスでは75%に削減することができました。(下図)

セントラルキッチンでの1000食あたりの総エネルギー投入量と温室効果ガス

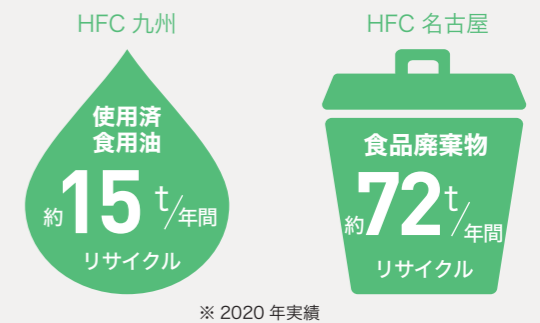


食品リサイクルの推進

日清医療食品は、調理の際に出る食品廃棄物のリサイクルを、セントラルキッチンおよびご契約先事業所で推進しています。

セントラルキッチンで

ヘルスケアフードサービスセンター九州では、年間約15tの使用済食用油を佐賀市に提供し、市営バス等のバイオディーゼル燃料にリサイクルして活用いただいています。また、ヘルスケアフードサービスセンター名古屋では、食品廃棄物を廃材処理工場から養豚所に年間約72t提供。粉砕加工し、100%を飼料として使用していただいています。同様の取り組みをヘルスケアフードファクトリー亀岡でも実施しています。



森林保全活動

日清医療食品の親会社であるワタキューセイモアは、毎年森林を守り育てる運動「京都モデルフォレスト運動」に参加し、本社所在地の井手町にある大正池周辺、約36ヘクタールを対象に間伐作業、除伐整備などの森林整備活動を行っています。日清医療食品は、2012年度からこの活動に参加しています。

日清医療食品は、親会社であるワタキューセイモアおよびワタキューグループ関連会社とともに、認定NPO法人富士山クラブの協力のもと、富士山麓の清掃活動を年1回、2011年から実施しています。



森林整備活動



富士山麓の清掃活動